

# トピックス

## 老令年金の給付額を引上げ 夫婦で最高四百六十ドルに

カナダでは、一月、物価上昇にともなう老令年金給付、追加年金給付、夫婦手当などの引上げが行われた。これにより基礎老令年金と追加年金（最高額）の両方を受給する独身者には月額合計二百四十ドル、双方とも年金を受給する夫婦には合計四百五十九ドルが支給されることになる。追加年金というのは、年金以外の収入が全くないか、僅少な老人に支給されるもの。

## 日本各地で観光キャンペーン ゴールド・ラッシュ時代の演奏家

カナダ政府観光局は、二月十五日から三月一日まで、日本各地でプロモーション・キャンペーンを行う。

これは、カナダの四季がおりなすさまざまな色彩やそれぞれの地方独特な風物を、旅行者を中心に、より深く理解してもらおうというもの。このキャンペーンには、古きよき伝統を受け継いだカナダの代表的な祭り「クロングアイク・デイ」から、三人のエンタテイナー（写真）が来日し、ゴールド・ラッシュ時代の酒場



音楽や、日本の歌などを披露する。

一行は東京（十五日―十六日）を皮切りに、名古屋（十七日―十八日）、大阪（二十一日―二十二日）、福岡（二十四―二十五日）、札幌（二十八日―三月一日）の各地を訪問する予定。

「クロングアイク・デイ」というのは、一八九三年に始まったアルバータ州クロングアイクでのゴールド・ラッシュを記念して、毎年七月中旬から十日間にわたって、同州エドモントン市が全市をあげて祝う祭り。

## パレスチナ難民救済に三百余万ドル

カナダは昨年、パレスチナ難民を救済し、その定着を図るための国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）に対し、二百万ドル分の小麦粉を含む三百三十五万ドルの援助を行ったほか、緊急要請に応じて三十万ドルを追加援助した。これは中東紛争の平和的解決を求めるカナダの姿勢を示したものである。

## 四割ふえた小麦収穫

カナダの昨年の小麦収穫は八億六千四百三十万ブッシェルと、一昨年の四割増を記録した。一エーカー当りの平均収穫では、二十六・六ブッシェルから三十一・四ブッシェルへ増収したことになる。

## 銀座でプチの版画展

カナダの代表的版画家ガストン・プチの個展が、二月二十一日から二十六日まで、東京・銀座の養清堂画廊で開かれる。プチはケベック州出身で、フレンチ・エン国際グラフィックアート展（ドイツ）、ブラッドフォード国際版画ビエンナーレ

プチの「オダリスクII」



来日本に滞在、創作活動を続けてきた。日本の代表的版画家四十四人の作品をまとめた「現代の版画」（講談社）の著者としても知られる。

## カナダの人口二千二百万余人に 主要都心部では減少傾向

カナダの人口は、昨年の六月一日現在で推定二千二百五十九万八千人（海外勤務の外交官や軍人、および調査時の不在者を除く）に達した。一九七一年の国勢調査では二千五百五十六万八千人であったから、五年間に約百万人増加したことになる。

州別ではオンタリオ州が八百十三万二千人（一九七一年は七百七十三万三千人）と最も多く、ケベック州六百四十四万一千人（同六百二十二万七千人）、ブリティッシュ・コロンビア州二百四十万六千人（二百八十八万四千人）、アルバータ州百八十八万人（百六十二万八千人）と続く。最も少ないのはニューファンドランドの五十四万九千人（五十二万二千人）。

主要都市では、都市周辺の人口はふえたものの、都心部では減少傾向がみられた。例えば、モントリオール市では一九

展（イギリス）、リュビアナ国際版画ビエンナーレ展（ユーゴスラビア）など、国際的版画展に出品している。一九六一年以

## 人事往来

○海上構造物に関する日加共同研究委員会に参加するため、P・H・アクロイド連邦政府運輸省運輸開発庁長官を団長とする代表团が来日（一月二十二日）。

○日加原子力協力協定の（安全保障措置に関する）改定交渉のため、カナダ政府代表团（首席代表D・W・フルフォード外務省技術経済局長）が来日（一月二十五日）。

○日加業種協議会に出席するため、カナダ農業研究所次長R・K・ゲウニー博士（採油用種子研究担当）らが来日（二月）。

○カナダ国防大学の教官・学生一行が視察・研修旅行の一環として来日（一月）。

本紙は、カナダ大使館から一月に一回発行されます。本紙掲載内容の転用、転載は自由ですが、その際は出典を明らかにして下さい。なお、ご意見やご希望は左記の住所にご連絡下さい。

東京都港区赤坂七丁目三番三三号

カナダ大使館広報部